

2015年7月22日  
日本ガンマナイフ研究会

## 「三叉神経痛.com」開設について

- 三叉神経痛の患者さんとご家族に、疾患と治療の情報を提供 -

日本ガンマナイフ研究会は、この度新たに三叉神経痛の患者さん、ご家族向けの情報サイト「三叉神経痛.com」(<http://sansashinkeitsu.com/>)を開設しました。

「三叉神経痛.com」は松田信二先生（千葉中央メディカルセンター 脳神経内科 部長）の監修のもと、三叉神経痛の患者さんやそのご家族に対して、三叉神経痛の基礎的な知識、特にガンマナイフによる治療法について正しく適切な情報を提供します。



三叉神経痛は多くの場合、血管による神経への強い接触と圧迫によって起こる疾患です。顔面や口内へのわずかな刺激が強く増幅され、脳幹から大脳へ激痛として伝わることから、「麻酔なしで抜かれた歯の神経に火柱を突っ込まれるような痛み」とも表現され、難治性疼痛の代表と言われています。日本では男性は10万人あたり2.7～10.8人、女性では5.0～20.2人程度と女性に多く<sup>1</sup>、また65歳以上の方に多く認められています。

ガンマナイフによる三叉神経痛の治療はすでに世界では広く普及しています。日本でも本年7月1日以降「薬物療法による疼痛管理が困難な三叉神経痛」に対する治療の保険適用が可能に

<sup>1</sup>日本神経治療学会治療指針作成委員会編集「標準的神経治療：三叉神経痛」



なりましたが、同時に患者さんやそのご家族が疾患や治療法について理解を深めることがより大切になると考えられます。

「三叉神経痛.com」は三叉神経痛で苦しむ患者さんがご自身にあった適切な治療を受け、生活の質（QOL）を向上させることができるよう構成されています。日本ガンマナイフ研究会ではこれからもガンマナイフ治療の適切な情報提供に注力していきます。

以上

#### 日本ガンマナイフ研究会について

日本ガンマナイフ研究会は、ガンマナイフ治療に関する研究発表や国内外での学術的な交流を通して学術の発展や人類の福祉に貢献することを目的として1995年1月に発足しました。代表は東京大学名誉教授 東京女子医科大学名誉教授 高倉公朋先生です。2015年7月現在、ガンマナイフ治療を行っている約210名で構成されています。詳細は <http://www.gamma-knife.jp/index.html> をご参照ください。

問い合わせ先：

日本ガンマナイフ研究会 事務局  
東京女子医科大学 脳神経外科  
Mail: [jimukyoku@gamma-knife.jp](mailto:jimukyoku@gamma-knife.jp)